

令和2年度第1回さぬき市子ども・子育て会議 会議要旨

1 開催日時 令和2年8月6日(木) 15時～16時15分

2 場 所 さぬき市寒川庁舎 多目的ホール

3 出席者

[委員] 佐竹委員(会長)、杉浦委員(副会長)、三谷委員、山田委員、
谷澤委員、合田委員、阿部委員、内海委員、山本委員、
梅垣委員、大西委員 植田委員、山下委員 (欠席1名)

[事務局] 間島、白井、多田、石原、河本、池下、山本

[傍聴] 1名

4 議 題 (1) 子ども・子育て支援計画の進捗状況等について
(2) その他

5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただいまより、令和2年度第1回さぬき市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>本日の会議でございますが、委員14名中13名のご出席をいただいております。さぬき市子ども・子育て会議条例の規定に基づき、委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。</p> <p>また、会議の公開に関する指針に基づき、本日の会議は公開としております。なお、本日は1名の方の傍聴のお申込みがありましたので、入室していただいております。</p> <p>また、令和2年4月の人事異動に伴い、各所属代表委員の方も一部入れ替わりがありました。小学校長会さぬき北小学校校長、保育所長会志度保育所所長、さぬき市PTA連絡協議会幼稚園部会会長、市職員連合労働組合長尾保育所保育士様に、新たに子ども・子育て会議委員に就任していただいております。委嘱状については、お手元のほうに置かせていただいておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、3月に開催を予定していた元年度第3回会議については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を見送ったため、計画策定について書面表決により、ご承認をいただきましたことを改めてご報告しておきます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、会長から、ご挨拶をお願いします。</p>

<p>(会長)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で大変な時期ですが、距離を保って開会できたことを事務局には御礼申し上げます。それでは進行してまいりますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。子ども・子育て会議の進捗状況について、まずは事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>まず配布資料の確認をお願いします。次第、出席者名簿、さぬき市子ども・子育て支援計画分野別施策進捗状況、第2期さぬき市子ども・子育て支援計画、第1期と第2期の相違の表です。お忘れの方は予備がありますので、お申し出ください。</p> <p>資料の「分野別施策の展開」をご覧ください。令和元年度は、前子ども・子育て支援計画の最終年度でしたので、中間年度の見直しを行いました平成29年度から令和元年度までの3か年分の進捗状況を記載しました。施策の内容欄は追加説明を除いて、全計画策定時の内容となっておりますが、ご了承ください。</p> <p>時間の都合上、部分的に説明させていただきます。まず、1ページ子育て支援の情報提供・相談体制の充実については、フェイスブックページ「ハートフルタウン」の運用開始、子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」導入、子育てハンドブック「すくすくファイルさぬきッズ」の配布などにより、子育て支援情報の配信強化を重点的に進めてまいりました。また、令和元年度に開設しました子育て世代包括支援センター「さぬきッズ子育てサポートセンター」において、母子保健コーディネーター、子育て支援相談員、母子・父子自立支援員が随時、妊娠、出産、育児についての切れ目ない専門的なサポートを行っております。小さい子どもを連れてお母さん、中には出産後退院したばかりの赤ちゃんを抱いて手続きに来る方もいますが、さぬきッズ子育てサポートセンターでは、子育て関係の様々な相談や児童手当等の手続きがその場でスムーズに行えるようになっていきます。</p> <p>8ページ、母子保健の充実を図るために、妊婦面接、パパママ教室やタッチケア教室の実施、乳児訪問、乳幼児相談や各種健診の実施など、年間を通して母子保健に係る取組を記載しております。</p> <p>次に、12ページ、医療費助成制度の充実については、昨年度から準備してきました県内現物給付が、本年度8月診療分より可能となりました。また、小児医療制度の充実という観点で、ここには子ども医療のみの記載ですが、ひとり親家庭等医療費、重度心身障害者医療費も同時に県内現物給付になっております。</p> <p>22ページ以降、配慮が必要な家庭や児童への支援としましては、ひとり親家庭等の自立支援、障害児施策の充実、児童虐待防止対策の推進を軸に取り組んでまいりました。子育て支援課内の家庭児童相談室が、子ども家庭総合支援拠点として、児童相談所や市内の保育所、こども園、幼稚園、小中学校等と常に連携を取り、地域ネットワーク強化を図っております。</p>

	<p>31 ページ、幼児期の教育・保育施設利用状況をご覧ください。表にあります②-①の数値が3号認定の0歳児以外マイナスであることから現在さぬき市では待機児童はいない状況と言えます。来年度、私立保育園が1施設開園予定でもあり、令和3年度以降も十分な定員が確保される見込みであります。</p> <p>32 ページ以降は各地域子ども子育て支援事業の実績値を記載していますのでご覧になってください</p> <p>今年度を始期とする第2期さぬき市子ども・子育て支援計画をお配りしています。前の計画との主な相違点をまとめたものもお配りしていますのでご覧ください。</p> <p>本日の資料及び説明等について、皆様のご意見をいただけたらと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
(会長)	<p>分野別施策の展開等につきまして、ご意見等がございましたらお願いしたいと思います。また第2期子ども・子育て支援計画につきましても、お気づきの点がありましたら、ご意見などいただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>利用実績は結果的にどうであったか、また、年度ごとに工夫があったところなどについて、分かりやすい事業でお聞きしたいと思います。</p>
(事務局)	<p>地域子育て支援センターについてですが、保育園内の子育て支援センターは30年度までは4か所でしたが、昨年度1か所増え5か所になりました。全体的に小さなお子さんの就園率が高いため、在宅の子どもが少ない現状ではありますが、支援センターを利用する親子はそれほど減少していません。支援センターが、就園前の親子にとって初めての集団の場となり、そこで、お母さんたちが仲良くなって、その関係がずっと続いていることもよく耳にします。</p> <p>今後の取組ではありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、支援センターに相談したい時、オンラインで相談できる相談体制を準備しているところです。安心して過ごせる場所でもあり、相談体制の強化という観点からも支援センターの担う役割が大きくなります。</p>
(会長)	<p>この第2期の計画策定時には、この現状を想像もしていなかったと思いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の準備や対応がこれからは必要性を増すことになるでしょう。</p>
(委員)	<p>3ページの放課後子ども教室の事業について、令和元年の実績人数が入っているが、これが多いのか少ないのかわからないが、どうでしょうか。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>放課後子どもの教室の担当課が、教育委員会の生涯学習課になっております。各学校で、主にボランティアの方を中心として放課後にだれでも参加できるというような内容で、各小学校(5か所)で実施し、令和元年から、全小学校7か所での実施となっています。ボランティアで指導してくださる方の実情・状況によって、さまざまな取組を行っている状況です。登録者の人数と、実際に利用している人数を表記しております。各小学校の児童数も違うため、一概には言えませんが、登録率としては、例えば、津田子ども教室では52名となっています。全校で200名弱の児童数ですので、約4分の1程度の登録になっており、そのうちの半数が参加しています。参加も自由参加で、放課後の居場所づくりの形であり、実施頻度も各学校で取り組みが違っています。延べ参加人数は相当数あると思われます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>3月にいただきました資料についてですが、この中に放課後児童クラブの今後の計画として、5年生、6年生の受入れについてはいかがなものでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>放課後児童クラブの受入れ拡充につきましては、第2期の計画の中では66ページに記載しております。66ページ67ページと見開きです。67ページは高学年の量の見込みと確保量です。現時点の計画の中では、②の確保量で、4・5・6年生とありますが、令和2年度は、4年生が114人としております。令和2年度、5年生の81人を確保するという形で、記載しています。令和4年度で77人、令和5年度は、児童数が、年度によって減ることを見込み示したうえで、6年生は、63人、令和6年度も継続していく計画を立てています。計画通りに進みますと、令和3年度に5年生拡充、令和5年度に6年生拡充という段階的な受入れをしていく。しかし、現実的には、準備が整っていない現状であり、令和3年度の実施は現時点では難しいと思われます。ネックポイントは、受入れスペースがないことです。現在市内に7か所のクラブがありますが、特に長尾放課後児童クラブは、施設的に余裕がない状況です。現状でも、児童には狭いスペースで我慢してもらっています。その改善が見込めるタイミングが、小学校の改築の問題もありますので、同時に学校内に設けられるような計画として検討しています。すぐに進む話ではなく、施設面の問題が大きい状況です。もう一点は、子どもを指導する指導員の人材確保の問題です。現在は、通常の1支援単位、子ども40名に対して支援員2名つくことになっています。今9クラブありますが、支援単位で換算すると17単位あります。17単位の中で、要支援のお子さんへの加配職員の必要もあり、職員数の欠員が7、8名、多い時で、10名の職員の欠員があります。職員の確保ができる状況にならないと、現場の対応力の問題に</p>

	<p>もつながってきますので、職員の処遇改善を図りながら、取り組みを進めていく予定です。</p>
(委員)	<p>次世代推進委員会の時から、高学年のお子さんの預かり、時間延長は課題としてありましたので、施設や人員の問題はあろうかと思いますが、よろしくをお願いします。</p>
(会長)	<p>他に質問はございませんか？</p>
(委員)	<p>分野別施策の26ページの児童虐待防止の推進ということで、小学校においては大きな事案はないが、児童虐待疑いケースがあります。この施策の推進についての内容についてお願いします。</p>
(事務局)	<p>児童虐待防止ネットワークがございまして、関係機関が協力して対応にあたっています。体制ですが、市の対応窓口としましては、従来からある家庭児童相談室が子育て支援課内にあります。現在そこには職員が4名配置されています。保健師1名、社会福祉士1名、家庭児童相談員2名、うち1名は女性相談員を兼務しており、そこが、窓口となっています。また、寒川庁舎2階を子ども家庭総合支援拠点として、総合的な対策に取り組んでいますが、子育て支援課の窓口には、地域子育て包括支援センターも設置しており、妊娠から出産・育児にわたり、きめ細かな相談・支援を実施しています。</p> <p>虐待に関して何かあれば、まずは家庭児童相談室が主として対応していきます。ケースによっては関係機関、関係部署へのつなぎを行っています。ネットワークとして、さぬき市要保護児童対策地域協議会があり、各関係機関、県児童相談所や警察、保健所などの他機関に参画いただきまして協議を行っています。個別では、ケース検討会、全体、中学校区単位でのケース検討会も開いています。いろいろな連絡連携を密にして、児童の安全を考えて、取り組んでいます。</p>
(会長)	<p>ありがとうございました。相談室に持ち込む事案はなかったということでしょうか？</p>
(委員)	<p>はい</p>
(会長)	<p>幼稚園関係で、委員さんのご意見をお願いします。</p>
(委員)	<p>表の見方について教えてください。31ページの施設利用状況について、2号認定の中で、教育ニーズと保育ニーズに分かれているのはどういうカウントのしかたですか。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>2号認定の教育ニーズ、保育ニーズについてのわけ方ですが、教育ニーズはいわゆる新2号認定と言われるもので、幼稚園籍で預かり保育を利用する児童で、保育ニーズの2号認定については、子ども園・保育園・保育所等に所属する2号認定の児童を指します。</p>
<p>(会長)</p>	<p>特にご意見等ないようであれば一旦質問は終わりにします。 次に、その他についてですが、各部署、所属等において、各委員さんより、今回の新型コロナウイルス感染症関連においての意見交換や情報提供をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>保育所では、朝早くから、19時まで子どもさんをお預かりしています。保育所においては、子どもたちの健康状態を特に気を付けています。朝の検温、保育所でも検温を行っています。保育所の園児は、ソーシャルディスタンスはなかなか難しく、距離を保つことができません。行事等はできるだけ全体でなく、各クラスで実施するようにしています。すべてにおいて、今後の保育をどうしていくか職員と模索している状況です。外部からの講師や、職員・子どもが外部に出ていく園外保育など、地域交流も少しずつ回復させたいと考えています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>幼稚園の方でも、朝夜2回の検温をし、検温カードで確認を行っています。手洗い、消毒、うがい、マスクの着用を行っており、1学期中は、園内に来ていただくような行事は取りやめをすることを園長会で取り決めました。2学期になって少しずつ再開する予定でしたが、近隣の町でのコロナ感染発生を受け、8月末の園長会で再度検討することになると思います。一番気になっているのが、ソーシャルディスタンスをとることで、幼稚園でも難しいです。友達との距離が近いことで楽しく遊べていますが、新しい生活様式を保育でも取り入れていくことで、距離を保つことも大事であると伝えながら保育に取り組んでいるところです。保育園、幼稚園に8月末ごろにはサーモグラフィカメラも入るようなので、今後もコロナ感染防止への対応をしていきます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>その他お聞きになりたいことはありませんか？ ないようなので、続いて、こども園のご意見等お願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>こども園においても、先ほど出た取組は同様にしています。子どもたちの発達上必要な関わりは、見極めながら保育していますが、0歳児はどうしても、人との関わりが大事なので、近い距離関係になってしまいます。気を付けていても、発症する可能性はあり、今のところさぬき市は発症がないが、</p>

	<p>近隣の町での発症があり、いつかは出るかもと思っています。園内で話をしていることで一番怖いのが、風評被害です。高松の公立保育所で感染者が出た時に、うわさではあるが、最初に感染した保育士が退職されたと聞いています。他職種においても同じですが、なかなか自粛の出来ない職種であり、同園内にもコロナに感染したら辞めると言っている保育士もいます。辞めなくていいと伝えていますが、施設の力では風評被害は防げないので、行政にお願いしたいことは、今後、さぬき市内で発生した場合、市全体で、風評被害へのサポートをしてもらえたらと思います。</p>
(委員)	<p>PTAとしては、先生方に日々、よく見ていただいてありがたいです。幼稚園においては預かりまで見ていただいて、長時間の保育で、働いている保護者にとっては、助かっています。さぬき市は小さい町で、風評の速度が速いため、コロナに関しては市全体で統率を取っていただけると保護者としても助かります。どうしても保護者同士のうわさは止まらないところもありますし、新聞等の報道も、個人を特定できるような書き方になっていることが気になっています。新聞への情報提供などを最低限の情報にしてほしいと思います。</p>
(委員)	<p>学校行事が中止になったり、急に休みになったりしましたが、保護者は、仕事を休むことができず、子どもたちだけで、家にいさせる状況になっていました。</p>
(会長)	<p>市の方から家庭に何か情報発信はされてましたか。</p>
(事務局)	<p>市の窓口は危機管理課が中心になって、いろいろな対応にあたっています。ホームページ掲載やケーブル、音声告知放送で必要な情報を流しています。</p>
(委員)	<p>子どもたちが、ずっと休みの間どこにも出ていなくて、しんぼうして頑張っていたんだなと思いました。今は、マスクを外したりしているので、少しゆるみが出ているような気がします。</p>
(委員)	<p>社協は、職員が約200名、民間と同じような介護予防に絡む事業をしています。感染リスクの高い高齢者、障害者が対象のため、感染予防に努めています。特に、高齢者の家族に対しても、県が出す通達に準じて、37.5°以上の熱がある場合の接触を遠慮してもらっています。また現場でも利用者同士も間隔をあけて事業は実施しており、心配されることでは、職員の家族の帰省についても、大阪から子どもが帰省するということで、親として帰ってくるならホテルに住ませるなどの対策を考えた親もいました。3密回避の徹</p>

	<p>底と県外帰省者と接触した場合には、接触後 2 週間の行動記録をつけるように指導しています。近隣や、県内で感染が発生しているので、職員一丸となって、毎週管理職の会を持ち、出先の職員、利用者への周知徹底を行っています。</p>
(委員)	<p>個人としては、子どものことより保護者のことが気になります。自粛期間が明けてからも、外出などを控えているため、子どもさんと家庭で過ごす時間が長くなっているため、保護者のストレスが高くなっていると感じます。虐待までにはならなくても、家にいても子どもとのコミュニケーションが少なくなっていたり、特に連休明けは、子どもが不安定だったり、保護者のストレスもすごく高くなっているような気がしました。園児のフォローは保育中にできますが、保護者へのフォローも行おうと、園内で話し合いました。組合の立場としましては、誰かのせいで感染したなどと口にするのは違うし、誰かが発症したら、職場でサポートし合っていこうと話しています。</p>
(委員)	<p>個人的にさぬき市子ども会に携わっています。小学校も外から見る立場でお役をいただいています。学校の先生に伺いますと、学業の方が時間的に厳しく、体験学習などが2の次になっています。結果的に、子どもたちのフラストレーションがたまってきているようです。したくてもできない、我慢しなければならない、それが、友達とのトラブルにつながることもあるようです。中高生は、部活動などがストップして大会などの大きな目標がなくなったけれども、自分の中で消化していたように思います。子ども会関連では、今までのところ活動は休止しています。今後、どういう対策を取りながら活動再開をするか、子どもの発散の場所として、交流の場として活動していかれるかを、今日の皆さんの話を聞きながら参考にしたいと思います。我が家に大学生2人と高校1年生がいますが、大学生はいまだに通信授業です。モチベーションがとても下がっています。自粛期間中は大人も子どもも家で過ごさないといけないという意識がありましたが、経済活動をしていくようになってウイズコロナになったとき、戸惑いがありました。一步踏み出せない状況。今後活動するにあたって、これがいい、これが駄目という明確な基準があれば動きやすく、気持ちの切り替えもできただろうと思います。それを小さい子にどう伝えていけばいいのでしょうか。</p>
(委員)	<p>個人としてはさぬき市放課後児童クラブの代替指導員として、子どもたちに関わらせてもらっている。5年経過した中で、今年が一番子どもとの関わりについて難しいと感じています。これまでとは違って3密を避けるように指導していますが、難しいです。職員の家族や自分自身を守っていくことも大切であると伝えるようにしています。児童養護施設でも、家庭で虐待を受けて入所してくる子が増えています。私は外で防ぐことはできないけど、</p>

	<p>子どもたちにここで何をしてあげられるか、今後も自分自身ができることをしっかり取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>(会長) ありがとうございました。私は大学生を相手にしていますが、大学生も同じです。いつの間にか3密が起きています。食事時も、対面はしない配置にしているのにいつの間にか対面でマスクなしで話をしていたり、開放的な状況になると、大事なことを忘れることがあります。大学では、4～5月はレポート式の授業やネットを使ってリモート授業、6月から対面授業で席の間隔をあげ対応しています。グループディスカッションができません。油断すると3密が守れません。3密を守って、消毒なども守れば、ある程度大丈夫になるのではないかと思います。お互いに困った立場にあることを前提に協力し合いながらやっていけたらいいかなと思います。風評被害についても行政と連携・協力をお願いしたいと思います。大変な時期ですが、何とか乗り切るという目標をもって、そうしないと、大事なことが抜けてしまって、体調を壊してしまいます。誰のせいでもなく、みんなで協力してやっていく、頑張りませんか、皆さんで。</p> <p> 他にご意見はございませんか。 なければ、今日の会は終わりにしたいと思います。気をつけてお過ごしください。 事務局から何かありますか。</p> <p>(事務局) 次回の会ですが、2月もしくは3月に開催したいと考えています。 よろしくをお願いします。</p> <p>(会長) 皆さんお気をつけてお帰りください。 ありがとうございました。</p>
--	--